

知床五湖の利用のあり方協議会（第6回）議事録

1. 場所：知床世界遺産センター レクチャールーム

2. 日時：平成22年1月28日 14:30～17:00

3. 出席者：別紙のとおり

4. 配布資料

資料1 ヒグマ対処法引率者検討部会（拡大版）実施概要

資料2-1 利用調整地区制度の概要

資料2-2 協議会での検討事項概念図

資料2-3 知床五湖利用調整地区の立ち入りについて

資料2-4 知床五湖地区における利用適正化計画の策定について

資料2-5 知床五湖利用適正化計画骨子（案）

資料2-6 知床五湖利用調整地区の立入認定基準（案）について

資料2-7 植生保護期の立入認定手続きの流れ（素案）

参考資料1 ヒグマ活動期の対応について

参考資料2 ヒグマ対処法引率者（仮称）の養成等とヒグマ活動期の立入の認定について

5. 議事概要：

(1) 開会挨拶：環境省釧路自然環境事務所 則久次長

本日の議題としては、ヒグマ対処法引率者検討部会の協議状況と、利用適正化計画の骨子についての2点の御確認をお願いしたい。

引率者のシステムについては、23年度開始にむけ、地元関係者を中心に6～7月に長期間の実験を実施し、1年間かけて作り上げていきたい。従って広く引率者を公募するのは23年度からを考えている。なお利用適正化計画については、本日だけでは議論しきれないので、後日意見を頂ければと考えている。

(2) 議題1. ヒグマ対処法引率者検討部会での協議状況について

知床財団：資料1に基づき、「ヒグマ対処法引率者検討部会」の実施状況に関して説明。

ガイド協会：資料中の実験が非常に上手くいったという評価はガイド側の評価ではなく、ガイドに対する評価として訂正してほしい。それから認定引率者のレベルを上げて欲しいということではなく、レベルを維持して欲しいとの意見である。また今年から来年に実施が延びたのは、ガイド側の都合ではなく、すでにこのまま始められる体制になっている。時期は1年延びたがこのまま研修やシステムをかえずに実施したほうが良い。

知床財団：ガイドのレベルを上げて欲しいというのは、他の方の意見としてあった。引率システムについては、ヒグマと遭遇した場合の引き返しの考え方などについて具体的な提案が出てきておらず、実験の内容によっては変わっていくものと考えている。

ガイド協会：追加意見で、資料のヒグマに出会わないようにするというのではなく、ヒグマの事故をおこさないということでは。

斜里町：危険な遭遇を避けるためにということが主旨である。

ガイド協会：そういう表現ならば問題ない。

環境省：五湖の利用のあり方を示す良いキャッチコピーとなるような表現を考えたい。

しれとこウトロフォーラム 21：安全が第一であり、ヒグマとの事故が絶対に起きないという状態で実施して欲しい。

知床財団：観光協会との間でも安全第一という共通の前提がある。引率者については当初地元に関り、広く募集するのは23年度からとすることについては、安全第一のためであり、ご理解いただきたい。

議題2. 利用適正化計画の策定について

環境省：資料2-1～7に基づき「利用適正化計画」について説明。利用適正化計画は3月までに完成させ、パブコメも実施する。

ガイド協議会：新たな施設整備は行わないとあるが、五湖の獣道対策などは実施しないのか。

環境省：制札や老朽化対策は実施する。利用増のための施設整備は行わない。

ガイド協議会：注意事項に摂食だけでなく、禁煙も明記すべき。

ガイド協議会：火気使用は禁止であり、道からは禁煙と言われている。

しれとこウトロフォーラム 21：人間を規制しても、ヒグマには襲われる可能性がある。遭遇時の待避場、クマの監視システム、緊急時の連絡方法などを検討すべき。

知床財団：待避場所などは有効な手法がないのが現状であり、そのためのこのシステムである。

斜里町：監視カメラ、シェルターなどのハイテクなシステムの導入ではなく、対処技術を持った引率者の配置によって一定の安全を確保するというのが基本的な方向性。また、事故を起こすクマは突然現れるのではなく伏線がある。財団では事故を防ぐためにヒグマのモニタリングを実施している。

しれとこウトロフォーラム 21：やる気になれば対策はできるのでは。全く安全であるというのであれば何も対策はいらぬが、事故の可能性があれば、できる対策はやって欲しい。

環境省：このシステムでコントロールされることにより、今の利用よりは、遭遇リスクは軽減される。なにか今のシステムに加えて対策が追加できないかは検討したい。

ウトロ地域協議会：資料2-5(2)①にエゾシカの被害についても記載が必要。11頁の高架木道は除くという表現は、将来延長した場合などに変更の手続きが難しくないか。

環境省：高架木道の件については区域変更することができ、特に問題ない。なお高架木道下部の敷地は含まれないような表現に修正したいと考えている。

ガイド協議会：非常に混雑した場合に、手数料を払ったのに入れないということは生じないか。引率者という名前は決定したのか？外国語訳にした場合に「ガイド」とならない表現が必要。認定者という表現を提案したい。

ウトロ地域協議会：代表者という表現も他の表現はないか再度検討して欲しい。また引率者については一目でわかるような服装の違いなどがあると良い。

しれとこウトロフォーラム 21：利用調整が他の地域へ拡大することはないか。

環境省：五湖は緊急性が高く、利用調整の対象としている。基本的に自主ルールで適正な利用をしていくことが望ましい。混雑対策に関しては適切な情報提供のあり方を検討していきたい。

しれとこウトロフォーラム 21：ヒグマに関するこれまでの研究成果はどうなっているのか、住民に対して説明がされていない。これまでクマ対策をやってきているにも関わらず、結局、利用者側が大きな制約を受けるシステムにしかならないということは、今までの研究は何だったのかという思いがある。

斜里町：それは逆の認識。引率者システムは、これまでの研究成果があればこそ実現できるもの。研究成果が無ければ、遊歩道の利用禁止、あるいはヒグマの駆除という極端な選択肢しか存在しないはず。

知床財団：引率者のシステムにより、これまでより効果的にヒグマに関する情報提供ができると考えている。

しれとこウトロフォーラム 21：フレペではヒグマが出ているが、他の地域も含め今後どうなるのか。

ウトロ地域協議会：研究成果の検証はしているのか。財団の追い払いが人慣れを起こしてはいないのか。科学的に検証し、説明が欲しい。

斜里町：追い払いには2種類の目的がある。その場所においては困る場合の緊急的な対応を非致命的に行うことと、長期的には人を避けるような行動変化を期待するもの。前者は確実な成果をあげている。後者については効果のある個体とない個体がいる。現状では財団による追い払い以上に、クマにとっては観光客等との無害な接触が圧倒的に多いことも忌避学習効果が上がらない原因。今後、五湖のクマ活動期については、すべての立入りグループが、（手ばたきや声がけなど）ヒグマにとっていやなメッセージ送る仕組みができることになるので、その効果を期待したい。

しれとこウトロフォーラム 21：ゴム弾の威嚇だけでは、ヒグマも慣れてしまう。広くさまざまな専門家の意見を聞き、対策を検討、検証してもらいたい。

ガイド協議会：地元の住民はヒグマを知っており生活してきた。情報を公開しないと地元には理解されない。五湖遊歩道の閉鎖・解放についても、いつクマを追い払って、いつも戻ってきたかなど、まったく分からない。情報がないのでなぜ閉鎖になっているかわからない。

斜里町：理由なく閉鎖しているわけではなく、出没の多発や痕跡の増加などの状況を受けて追い払いや閉鎖を行っている。これらの情報は相当提供してきたつもりである。

ガイド協議会：閉鎖時には財団にかわり、我々が利用者に言い訳している場合もある。情報が十分伝わっていない。

斜里町：情報の共有については今後さらに深めていきたいが、一般への情報の出し方については、一定の線引きが必要。情報を出すことでヒグマを見に行く人が現れるなど不要な混乱を招く恐れがある。

ガイド協議会：五湖でのヒグマとの軋轢の増大を地元が見られるようなデータを提示して欲しい。

知床財団：ホームページ上では知床データセンターでヒグマに関する情報を公開している。

ガイド協議会：五湖は公開しても人がヒグマを見に行くというようなことはなく、問題ない。

ガイド協議会：この場はクマ対策の会議の場ではないことを確認したい。情報についてはホームページだけではなく、プリントで配布するなどの情報提供が必要。利用適正化計画の案については五湖の協議会が認定するということは荷が重い。協議会の代表者など、規約を見直すことはないのか。協議会の立ち位置を明確にする必要がある。

環境省：協議会の規約については見直しを行いたいと考えており、次回以降提案したい。

ガイド協議会：利用適正化計画に区域の利用料の項目は入らないのか。

環境省：別途策定する。利用料は認定事務に係る経費の実費精算となる。

ウトロ地域協議会：利用調整地区、適正化計画の関係など言葉が難しく、理解しづらい部

分がある。また手数料だけでは運営が難しいと思うが、運営に補填する余裕金の設定などは考えていないのか。資料2-3の管理については、全体の管理運営計画がないと判断できない。

環境省：計画の構成などはわかりやすく整理しお示ししたい。

ウトロ地域協議会：計画の背景・課題が同じような記述になっており、文言の整理が必要。

環境省：検討したい。

ウトロ地域協議会：参考資料2 ヒグマ対象法→対処法の間違い。

ガイド協議会：計画策定の全体のタイムスケジュールを示して欲しい。

(3) 閉会挨拶：環境省釧路自然環境事務所 則久次長

(以上)